

『禅』29号正誤表

前号に次のような誤記がありました。ご執筆者の故磨瓢庵白田劫石老師をはじめ、読者の皆様に謹んでおわび申し上げますとともに、次のように訂正させていただきます。

ページ	行	(誤)	(正)
9 頁	9 行目	七日	七日間
	1 4 行目	妙蜂	妙峰
	下から 2 行目	徳靈	徳雲
	下から 2 行目	言の	雲の
	下から 1 行目	徳峰	徳雲
1 0 頁	5 行目	通棒	と痛棒
	9 行目	言思	言思の道
1 1 頁	下から 1 0 行目	妙蜂頂	妙峰頂
1 2 頁	2 行目	弊凧	弊風
	2 行目	読経	詩経
	4 行目	湖の	潮の
	7 行目	朝難暮辛	朝艱暮辛
	1 2 行目	深思	深恩
	下から 4 行目	屈かない	届かない
1 3 頁	1 1 行目	悪漢	老漢
	1 5 行目	てはなく	ではなく
	1 9 行目	である。	である。
	下から 4 行目	余り	余りに
1 4 頁	1 行目	果然して	果熟して

編集後記

『念ずれば花ひらく』をはじめとする平明幽玄な詩によって、日本人の心に光を灯し続けられた求道の詩人坂村真民先生は、平成18年97歳でご逝去になりました。来る10月4日には、先生の第二の故郷 愛媛県砥部町で「生誕100年記念の集い」が開かれることになっております。

先生は、詩の道に生きることを決意された後、ほんとうの詩人として生きるために自己革命をするべく、地元大乗寺で禅の修行を始められましたが、ついに宇宙（大自然の生命）と一体の自己を体験され、大きな安心を得られました。先生は、その大盤石の基盤の

上に、坐禅・念仏・祈り・礼拝・詩作の行に打ち込まれ、人間形成を深めていかれました。時宗の開祖 一遍上人（上人も、禅の修行により念仏三昧の境地を得られました。先生には、名著『一遍上人語録 捨て果てて』があります。）を生涯の師と仰ぎ、その遺業を受け継いで詩誌『詩国』（四国は仏の国、また山河草木悉皆成 仏の一大蓮華国の意。）の無償配布を続けられ、多くの人たちに勇気と希望を与えられました。

先生は、よくご家族に「死んだら、悩み苦しんでいる人たちを訪ねて回るので、墓の中にいる暇はない。」と話しておられたそうであります。まことに、弘誓（衆生救済の広大な誓い）深きこと海のごとき菩薩であられました。

合掌 編集子

禅30号（通巻210号） 定価500円（税込）

平成21年9月25日発行

編集人	中	村	孝
発行人	佐	瀬	長和

発行 人間禅出版部

〒272-0827 千葉県市川市国府台6-1-16
人間禅本部道場内

ファックス 047-373-7561

Eメール zenshi@ningenzen.org

ホームページ <http://www.ningenzen.org>